

日野郡の秋を体験しよう!

大山・日野川源流の日野郡には、語り継ぎたい歴史や文化がたくさんあります。秋の日野郡を体感できるイベントを紹介します。

祝! 都合山たたら跡県指定史跡

奥日野たたら2Weeks

～たたら製鉄をまるごと楽しむ2週間～

期間 10月19日(土)～11月3日(日・祝)

- 都合山たたら遺跡に小屋を建てよう!(仮)
たたら操業時の遺構が良好な状態で残っている貴重な都合山たたら遺跡。その遺跡内にみんなで一緒に小屋(ミニ休憩所)を建てるイベント。遺跡解説やAR体験も楽しめます。

開催日 10月19日(土) ※予備日20日(日)

場所 都合山たたら遺跡

- 令和のふいご祭

その昔、ふいごに酒食をお供えて祝っていたことが起源といわれるふいご祭。令和元年は、砂鉄から鉄をつくる作業を再現したミニたたら操業体験、ペーパーナイフを作る鍛冶屋体験などができる学習体験イベントに。たたら文化を丸ごと楽しもう!

開催日 11月3日(日・祝)

場所 日野町役場前広場など



※期間中は、他にもたたら科学子どもワークショップや、たたらまち歩きツアー(10/26予定)など実施予定。詳細は下記問い合わせ先まで。

奥日野たたら里づくりプロジェクト実行委員会
電話:0859-72-2101(事務局 日野町役場産業振興課内)

※県内の「大山開山1300年祭」関連イベントについては、伯耆国「大山開山1300年祭」ホームページをご覧ください。 <http://www.daisen1300.org/>

奥大山古道ウォーク

原生林、美しい農山村風景の中に残る奥大山古道を歩くウォーキングイベント。伝統の「下蚊屋荒神神楽」の鑑賞も楽しめます。後醍醐天皇ゆかりの「御机だんご汁」の振る舞いや地元の新鮮野菜と新米の販売などもあり、奥大山の魅力を一度に満喫できる一日です。

開催日 11月10日(日)

場所 奥大山エリア(鍵掛峠、御机、下蚊屋)



奥大山古道保存協議会
電話:0859-75-6007(事務局 江府町観光協会内)

その他、日野郡の大山開山1300年祭イベント

- 奥大山うまいもん祭り

期間 10月26日(土)・27日(日)

場所 エバーランド奥大山

- 茅葺小屋・銀杏並木ライトアップ

期間 未定

場所 御机 茅葺小屋
洲河崎 江府町運動公園銀杏並木

錦秋の大山環状道路を歩こう



今年もやります!
大山環状道路を通行止めにして、車が通らない広いブナのアーチの中で、大山の紅葉を心ゆくまで満喫しませんか。

令和元年10月26日(土)
午前7時～午後2時
歩行者に無料開放!

同日、車両通行規制区間で3コースのウォークイベント(有料)が同時開催されます。
※詳細はホームページで随時更新していきます。

無料シャトルバスが運行されます

大山寺～樹水高原～大山まきばみるくの里は無料シャトルバスをご利用ください。
※規制区間内のシャトルバス運行はありません。

無料駐車場があります(約1,350台)

・大山寺(博労座)…760台
・樹水高原…190台
・エバーランド奥大山…400台

車両の通行規制のお知らせ

時間:午前7時～午後2時
区間:樹水高原～エバーランド奥大山(7.5km)
対象車両:全ての車両が通行止めです
※区間内は緊急車両のみとなります。

他にも多彩なイベントが催されます。ホームページ等でチェックしてGO!
内容の詳細については、ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

HP <https://www.pref.tottori.lg.jp/seibu-shinkou/>

奥大山満喫ウォーク実行委員会(鳥取県西部総合事務所)電話:0859-31-9372

日野郡からスマート農業発進!



スマート農業って?

皆さんはTVドラマで無人で走るトラクターの話を観られましたか。あれはTVだけの話と思われていませんか。日野郡でもそのような「スマート農業」(ロボットや情報通信技術などを活用して超多収・超省力化を実現する農業のこと。)による水稲での実証試験が、県内でトップを切って、今年の5月から始まっています。



ドローンによる播種

「スマート農業」により期待される効果(農業経営・人・農地)

- 作業時間の短縮、資材費等の低減
- 中山間地域の畦畔管理などの疲労軽減
- 勤や経験のデータ化や地図による見える化

少ない人数や経験が浅くても効率的な営農が可能になる!

実証の内容は?

日南町印賀の株ファームイングで、以下の内容を鳥取県農業試験場、鳥取大学やメーカー等と連携して進めています。

- 「ドローン」種もみの播種、農業・肥料散布など一連の作業の省力化体系
- 「田植え機」田植と同時に土の深さ肥沃度を測定し自動調整で施肥+「乗用管理機」葉色で量を調節して追肥+「コンバイン」収量や品質等を記録しながら収穫、を組み合わせた体系
- 「リモコン式自走草刈機」通常の草刈り機使用との比較検討

今までの経過や現在の状況は?

- 5月15日にドローンでの播種、5月16日に田植、6月からリモコン除草が始まり、生育はおおむね順調で、今後は所定の作業を行いながら関係者と生育調査などを進めていきます。
- 農家から、「ドローンで高濃度・少量の肥料などが短時間で均一に散布できる。」「各種機械で水田の状態をデータ化できれば未経験者へ匠の技術が継承でき雇用の幅が広がる。」「リモコン除草機で作業が非常に楽になった。」などの評価がありました。
- 改善が望まれる点は、スマート農機の価格がかなり高い、リモコン除草機では刈れない箇所がある、スマート農機を有効活用するためには農地の再整備が必要になる、などがあげられます。

- 現在は開発段階の農業機械であり、これから2年間、日野郡での効果を検証していきます。このような実証が全国で進んでおり、遠くない未来に、もしかすると人口減少や高齢化による農業の担い手減少を克服できるものが日野郡で出てくるかもしれません。



乗用管理機による肥料散布



リモコン式自走草刈機

日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090